

【特集：業界情報】

柔整・鍼灸業界とリラクゼーション業界を取り巻く環境変化

はじめに

今後の院経営に少しでもお役立ち頂ける内容を発信していきたいと思い、
前回は「**柔整・鍼灸業界と整形外科業界を取り巻く環境変化**」と題しまして

- ・ 今後、日本の人口は減少し、柔整・鍼灸業界および整形外科業界のメインの患者さまである対象年齢層の人口も減少する。
- ・ 柔整・鍼灸業界においては、施設数や柔道整復師・はり師・きゅう師は増加する一方で、1人あたりが治療院にかける消費もコロナ禍が収まったとしても横ばいもしくは微減の状況で、療養費も減少している状況にある。よって、1院あたりの患者数は減少することが想定される。
- ・ 整形外科業界においても国の方針もあり、従来の経営スタイルからの変化が余儀なくされ、在宅医療・介護を含めたリハビリテーションを行う診療所が増えている。また、対象者を高齢者とは別に設定し、自費診療を取り入れ、専門性を謳った診療所も増えている。

という内容をお届けしました。

今回は、「**柔整・鍼灸業界とリラクゼーション業界を取り巻く環境変化**」をお届けします。

前回の「**柔整・鍼灸業界と整形外科業界を取り巻く環境変化**」はコチラ

リラクゼーション市場規模推移・予測

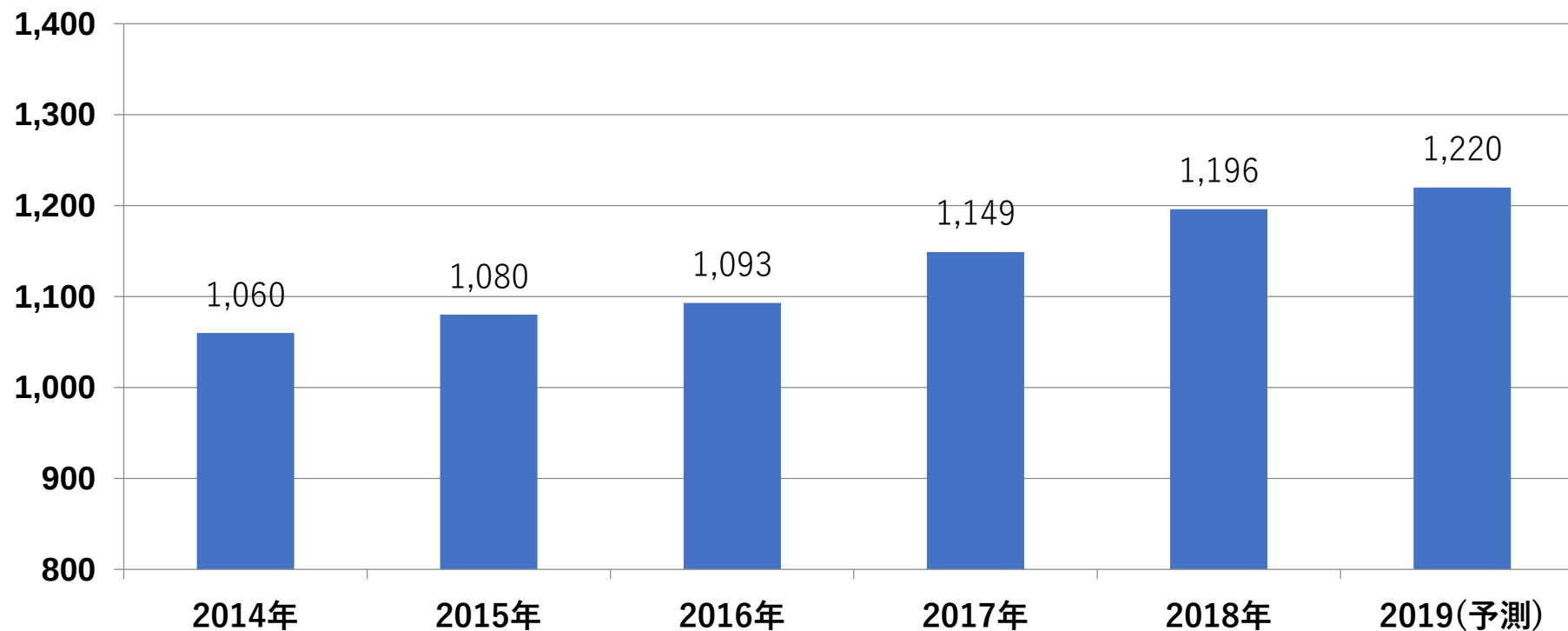
「矢野経済研究所の「リラクゼーション市場規模推移・予測」をもとに内容編集しています。

*2019年5月～7月にリラクゼーション（ボディケア・リフレクソロジー）を提供している企業、及び関連団体等に矢野経済研究所の専門研究員による直接面談、電話・FAX・郵送によるヒアリング、ならびに文献調査併用データ」

*ボディケアやリフレクソロジーなどの施術療法を行うサービスを対象として、事業者売上高ベースで算出した。但し、鍼灸、指圧、マッサージ、柔道整復などの国家資格を有して行う治療・施術を除く。

リラクゼーション市場規模推移・予測

リラクゼーション市場規模推移・予測（億円）



矢野経済研究所調査リラクゼーション
市場規模推移・予測データの内容編集

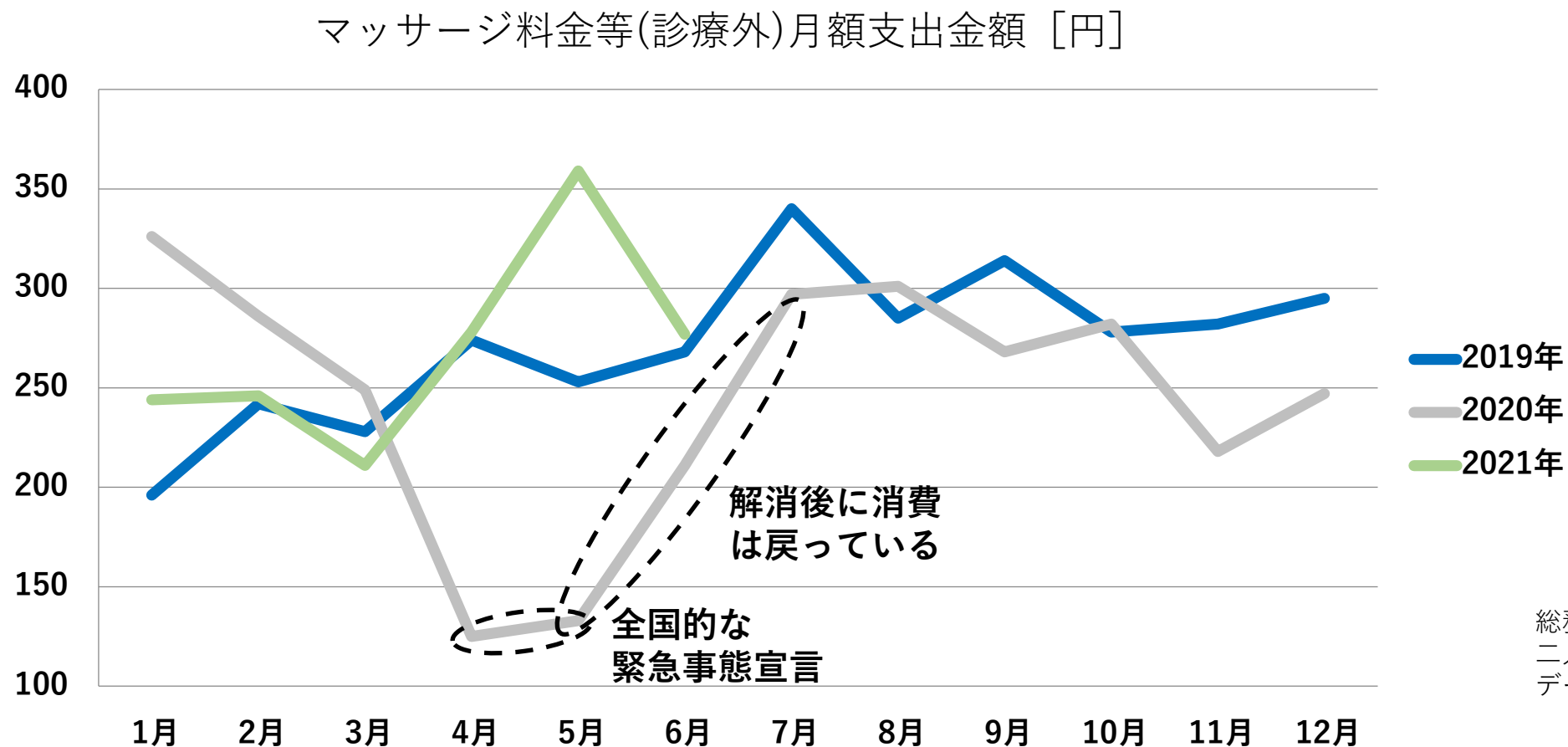
2016年まで1～2%ほどの微増で推移してきたが、2017年以降はチェーン店経営企業による積極的な新規出店により、市場は拡大傾向で推移し、2018年市場規模は前年比104.1%の1,196億円となっている。

リラクゼーション(マッサージ)業界 消費動向から見るコロナ禍の影響について

一般世帯の消費動向から患者変化を推定します。

総務省統計局が行っている、毎月実施している家計調査（家計収支編）二人以上の世帯(調査は全国的に抽出)8076件の平均収支金額より、2018～2021年の動向をデータ抽出し分析しました。

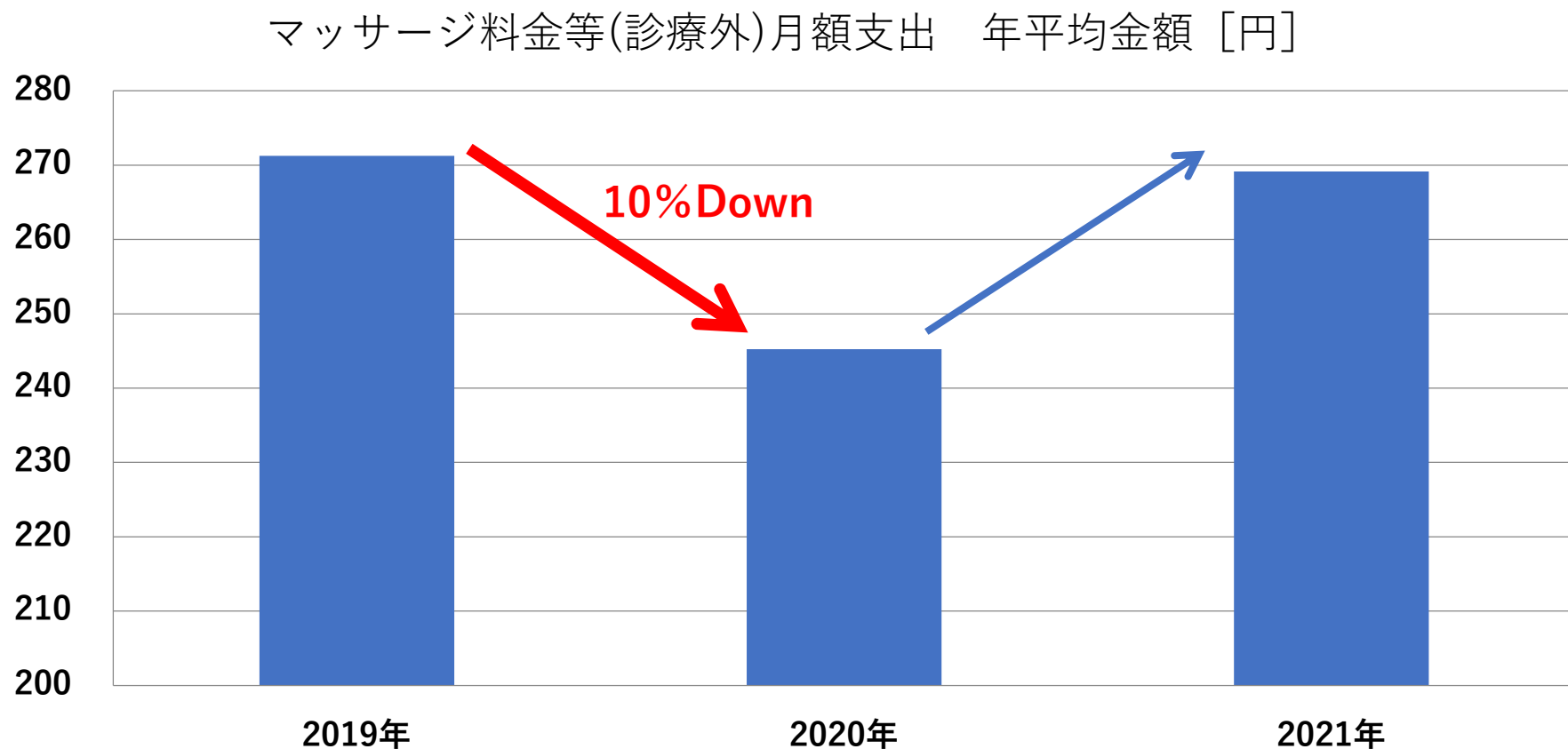
一般世帯の消費動向（マッサージ料金等(診療外)） コロナ禍の影響



総務省統計局家計調査（家計収支編）
二人以上の世帯_支出金額[円]
データの内容編集

緊急事態宣言解消後の7月は消費は完全に例年並みに戻っている。近年、マラソン人口増加に伴い消費が増えていたが、昨年は大会自粛で消費が減少したと考えられる。

一般世帯の消費動向（マッサージ料金等(診療外)） コロナ禍の影響

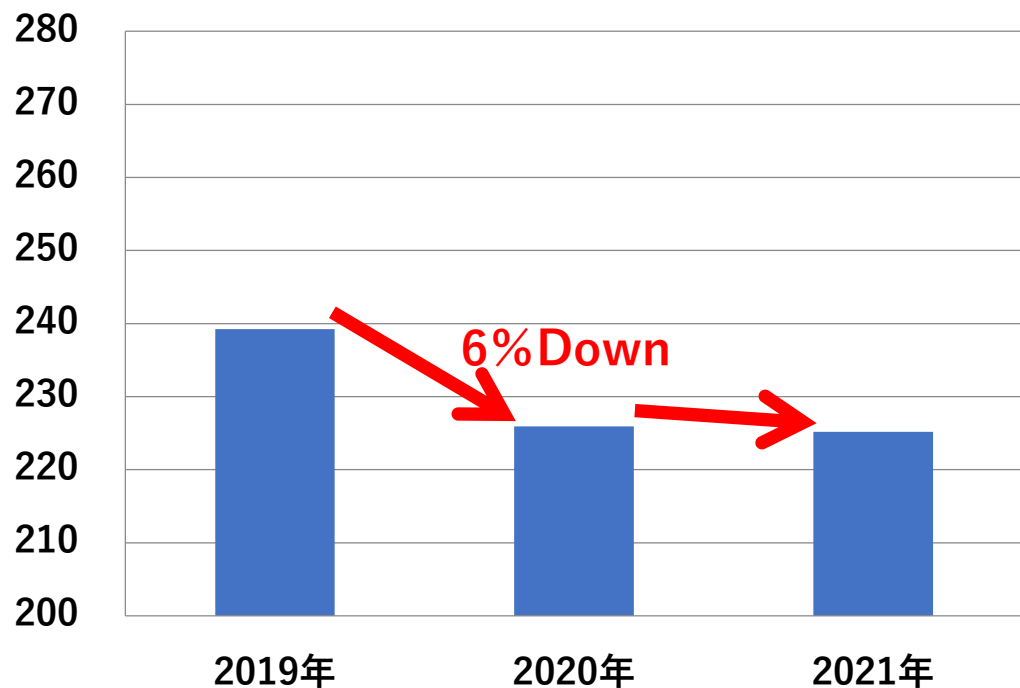


総務省統計局家計調査（家計収支編）
二人以上の世帯_支出金額[円]
データの内容編集

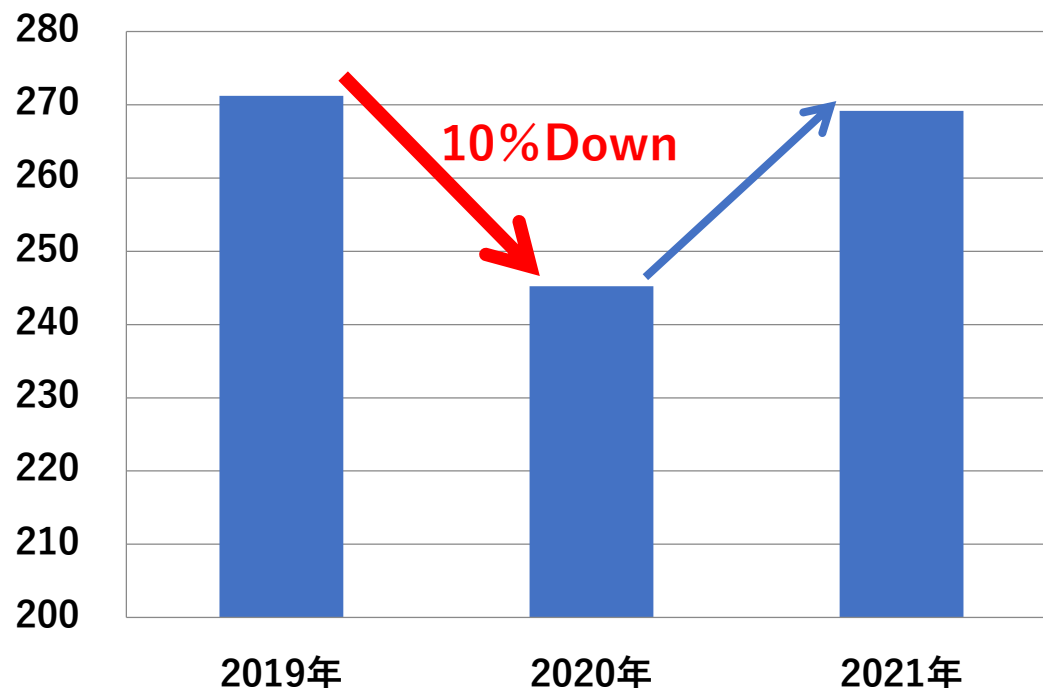
コロナの影響もあり、2019年からの消費で10%ダウンという結果であった。
2021年も6月までの消費平均269円となっており、2019年の平均271円と同等の状況まで戻っている。

一般世帯の消費動向（整骨/接骨・鍼灸院治療代とマッサージ料金の比較）

整骨/接骨・鍼灸院治療代 月額支出
年平均金額 [円]



マッサージ料金等(診療外)月額支出
年平均金額 [円]

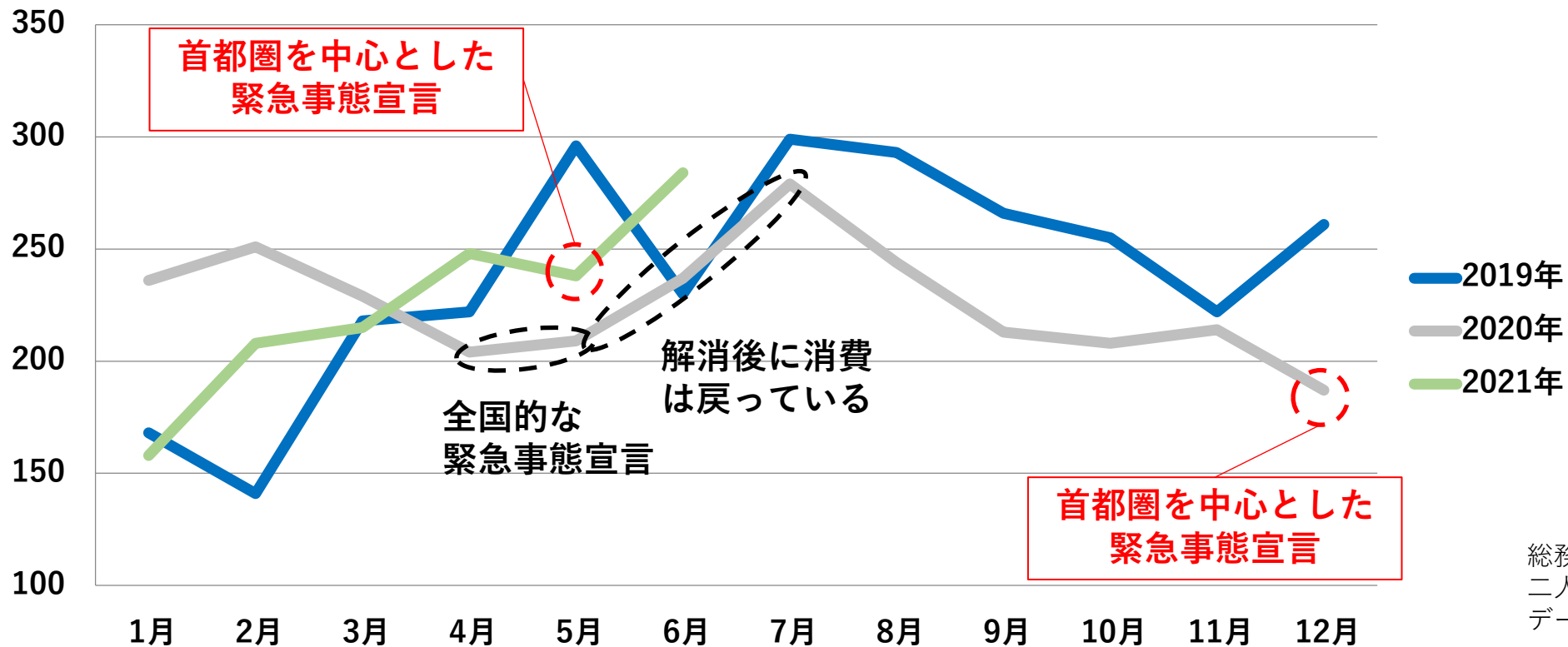


総務省統計局家計調査
(家計収支編)
二人以上の世帯_支出
金額[円]
データの内容編集

整骨・接骨院にかかる消費よりマッサージにかかる消費の方が、平均で約32円高い。
2020年の消費は何れもダウンしているが、2021年マッサージの消費は一昨年の水準まで回復している。

一般世帯の消費動向（整骨/接骨・鍼灸院治療代）

整骨/接骨・鍼灸院治療代 月額支出金額 [円]

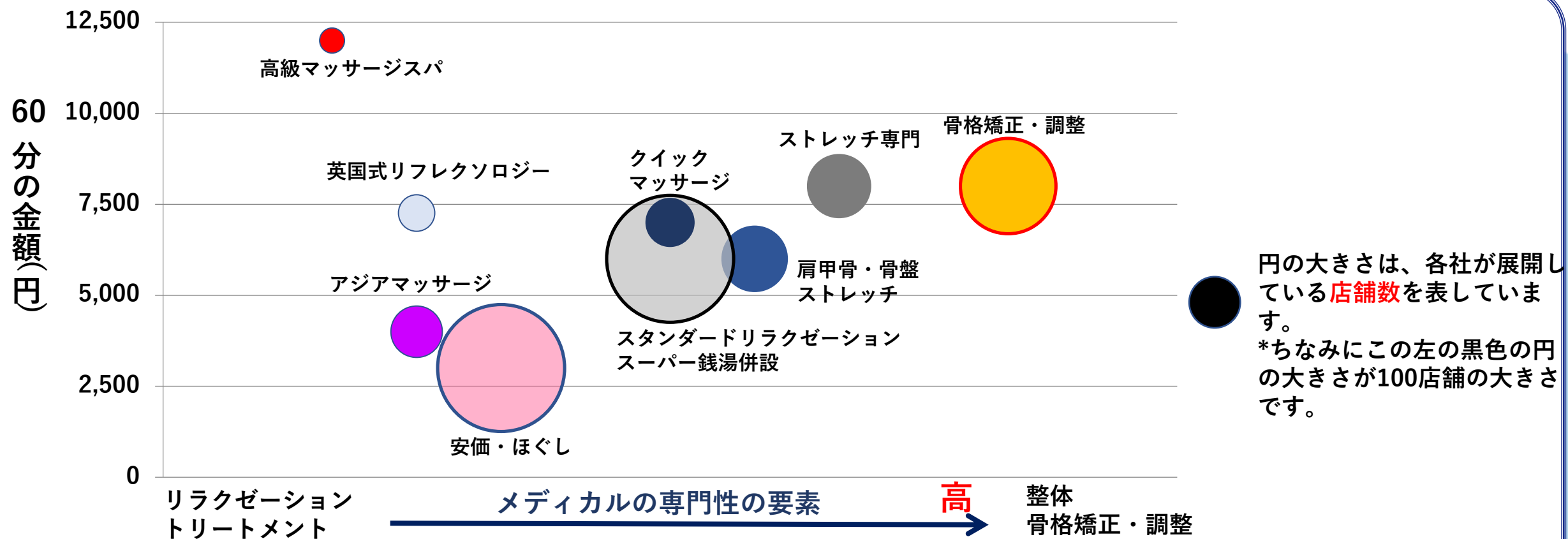


昨年の全国的な緊急事態宣言解消後に消費は完全ではないが戻っている。昨年7月には活動量も増え、消費のピークを迎えている。活動量と消費には関係性がある。2021年も5月の緊急事態宣言下以外では2019年の水準まで戻ってきている。

リラクゼーション業界大手の状況

リラクゼーション業界でチェーン展開を実施している大手の特徴を各社のWEBページに記載の情報をもとにメディカルの専門性と60分あたりの金額でマップにしました。各社、様々なブランドとメニュー、料金プランがありますが、メインとなっているブランドをベースに状況をまとめています。また、各々の円の大きさは、展開している店舗数を示しています。

リラクゼーション業界大手の状況



リラクゼーション業界の上記大手で市場シェアの大半を占めている。上記分布を見ても大手は各々の特徴を活かした展開を実施し、シェアを獲得していることが分かる。また、各社1つのブランドのみならず、複数ブランドとメニューで展開を拡大している。

リラクゼーション業界 その他業態紹介

リラクゼーション業界も新たな業態が次々とでてきています。その一部を紹介したいと思います。

リラクゼーション業界 その他業態紹介

■ファスト整体

メニューは10分1,100円と20分2,200円のみ。首・肩・背中 of 筋肉を短時間で効果的ほぐす

CHARGE <https://charge10.tokyo/>

■頭専門の揉みほぐし店

悟空の気持ち <https://goku-nokimochi.com/>

■サブスクマッサージサロン

月額2,980円で最高級モデルのマッサージチェアが、24時間使い放題

feel refresh <https://www.feelrefresh.jp/>

■企業専用出張リラクゼーションサービス

株式会社イーヤス <https://www.e-yasu.jp/>

柔整・鍼灸業界とリラクゼーション業界を取り巻く 環境変化まとめ

柔整・鍼灸業界とリラクゼーション業界を取り巻く環境変化 まとめ

■ リラクゼーション業界は、2016年まで1～2%ほどの微増で推移し、2017年以降はチェーン店経営企業による積極的な新規出店により、市場は拡大傾向で推移し、2018年市場規模は1,196億円となっている。

■ リラクゼーション業界は、コロナの影響もあり、2019年からの消費で10%ダウンしたが、2021年も6月までの消費平均は、2019年と同等の状況まで戻っている。整骨・接骨院業界においても緊急事態宣言下以外では、概ね2019年の水準まで戻っている。

■ 整骨・接骨院にかかる消費よりマッサージにかかる消費の方が、平均で約32円高い。

■ リラクゼーション業界は、大手で市場シェアの大半を占めている。大手は各々の特徴を活かした展開を実施し、シェアを獲得している。また、生き残りをかけて、新たな業態が次々とでてきている。

■ 自由診療の展開を考える場合には、周囲のリラクゼーション業界動向も把握した上で、院の独自性を考慮した展開が必要になってくる。

ご覧いただきありがとうございました。

今回「柔整・鍼灸業界とリラクゼーション業界を取り巻く環境変化」についてご理解頂けましたでしょうか？

リラクゼーション業界においても様々な取り組みを実施し市場を伸ばしてきております。自由診療を展開する上では、周りの業界情報を把握する必要があります。少しでも経営のお役立ち頂ける情報を発信していきたいと考えておりますので、是非とも引き続き、内容をご確認頂けたらと思います。

次回は、「他業種(歯科業界)に学ぶ柔整業界」について9月中旬にお届け予定です。